

講義Ⅱ

「薬物乱用防止教育の推進：考え方と進め方」

兵庫教育大学大学院  
教授 西岡 伸紀

令和2年度喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室講習会

## 薬物乱用防止教育の推進：

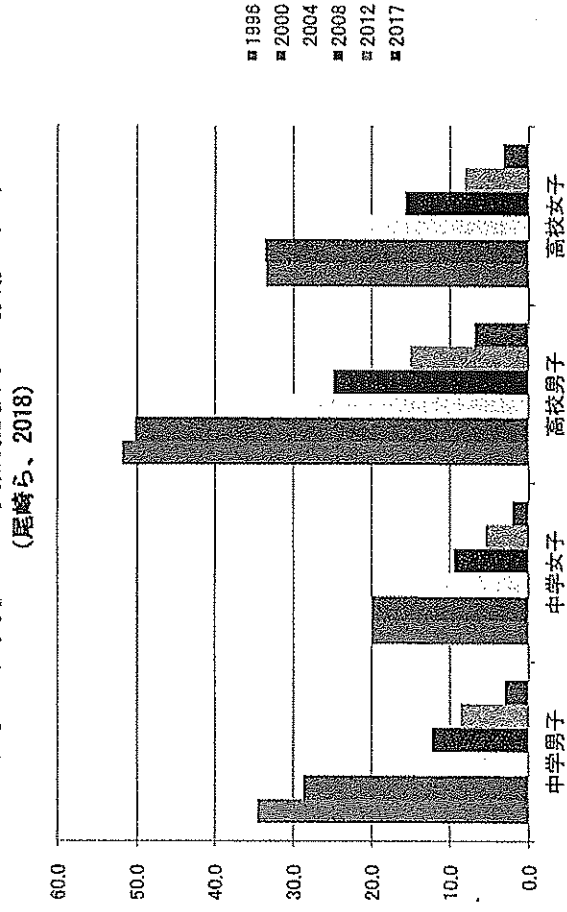
### 考え方と進め方

兵庫教育大学大学院学校教育研究科  
西岡伸紀

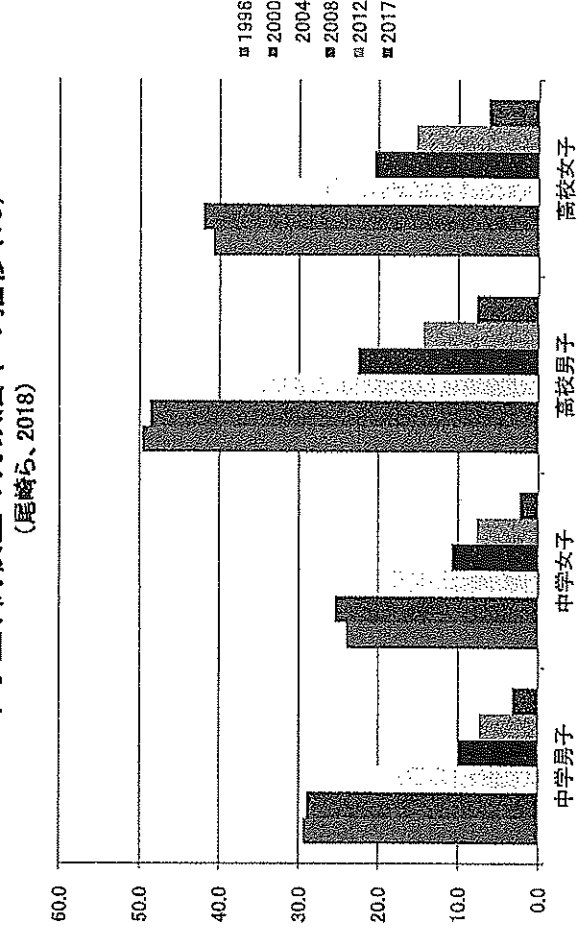
## 内容

- ✓ 喫煙、飲酒、薬物乱用の実態、関連要因
- ✓ 健康教育及びライフスキルの育成
- ✓ 指導の目標、内容、留意点
- ✓ 薬物乱用防止教室
- ✓ 多様な指導方法：ブレインストーミング、誘いへの対処
- ✓ 資源の活用

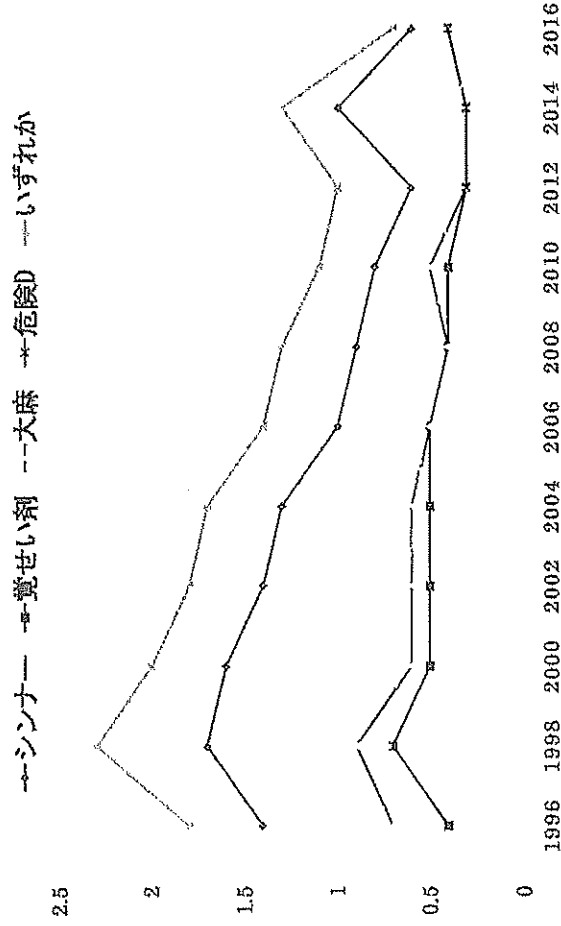
中学生、高校生の喫煙経験率の推移（％）



中学生、高校生の月飲酒率の推移（％）



中学生男子の薬物乱用経験率の推移(%) (嶋根ら、2017)



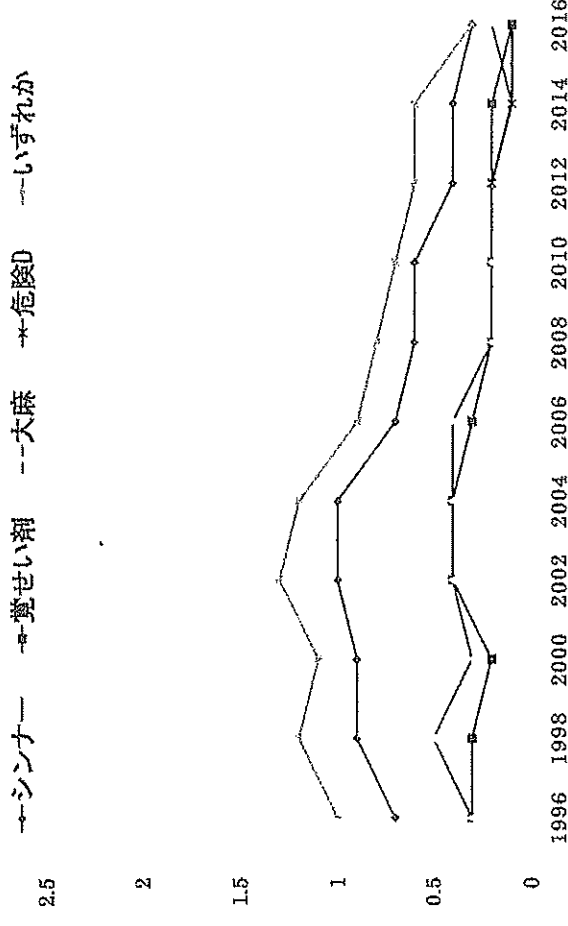
ノンアルコールの子ども摂取に対するメーカーの意見(例)

Q「ノンアルコールビール」を子どもが飲んでも大丈夫でしょうか？

A あくまで当製品は20歳以上の方の飲用を想定して開発しています。

法律上問題はありませんが、ビールテイスト飲料のため、本物のビールや各種アルコール類へ誘引するきっかけとなる恐れもあるため、おすすめいたしません。(S社お客様センター、改変)

中学生女子の薬物乱用経験率の推移(%) (嶋根ら、2017)



ノンアルコール飲料の経験の動機：児童 n649,4-6年

小6経験率：飲酒16.1%,ノンアルコール22.6%/ 酒先32.2%,ノンアルコール先52.5%

アルコール飲料摂取の理由 (計 109 名)

- ✓ 間違えて飲んだ 40 名
- ✓ 飲まされたから、勧められたから、だまされたから 18 名
- ✓ 飲んでみたかったから、おいしそうだったから、気になったから 15 名
- ✓ その他 18 名、無回答 18 名

ノンアルコール飲料摂取の理由 (計 142 名)

- ✓ ノンアルコールだから、子供でも飲めるから 30 名
- ✓ 飲んでみたかったから、おいしそうだったから、気になったから 28 名
- ✓ 飲まされたから、勧められたから、買ってくれたから 18 名
- ✓ その他 34 名、無回答 32 名

後藤綾, 他：児童におけるノンアルコール飲料摂取が飲酒と喫煙に与える影響, 薬学雑誌, 138, 2018

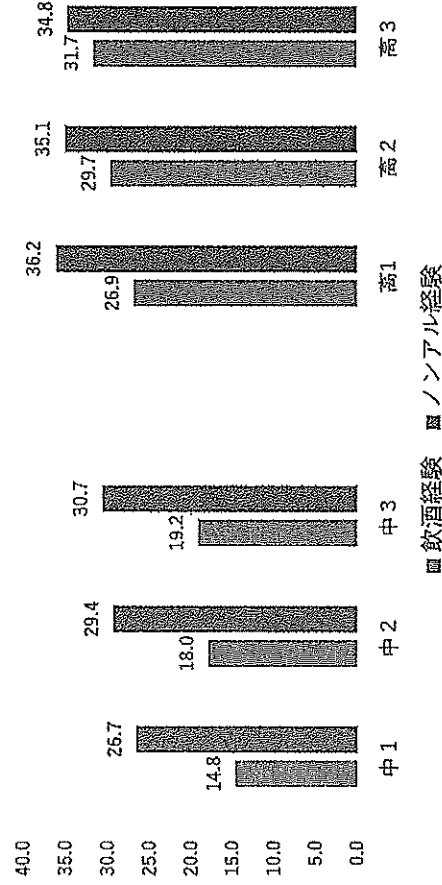
## ノンアルコール飲料と飲酒の関連性：児童

ノンアルルの経験者は未経験者に比べて

- ✓ 飲酒経験率が高い：学年別，性別とも
- ✓ 成人時の飲酒意思が強い：学年別，性別とも
- ✓ 家族に飲酒者がいる割合が高い：6年，女子
- ✓ 家族にノンアル飲酒者がいる割合が高い：学年別，性別とも

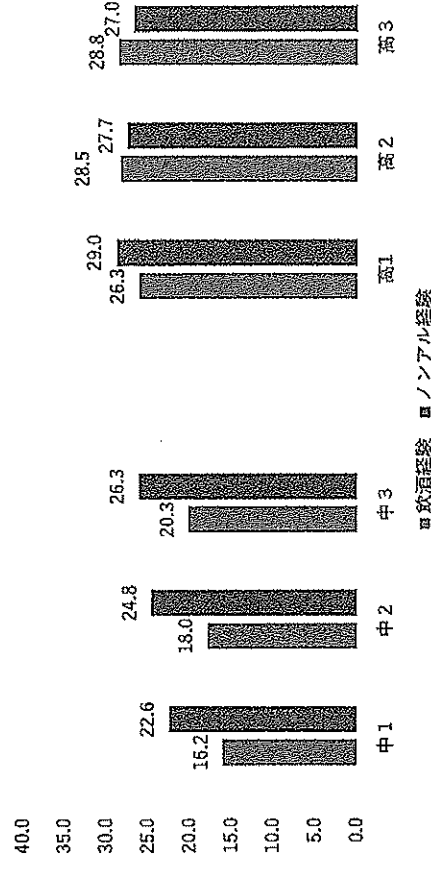
後藤綾，他：児童におけるノンアルコール飲料摂取が飲酒と喫煙に与える影響，薬学雑誌，138，2018

## 飲酒，ノンアルコール経験率：中高女子(%，2017)



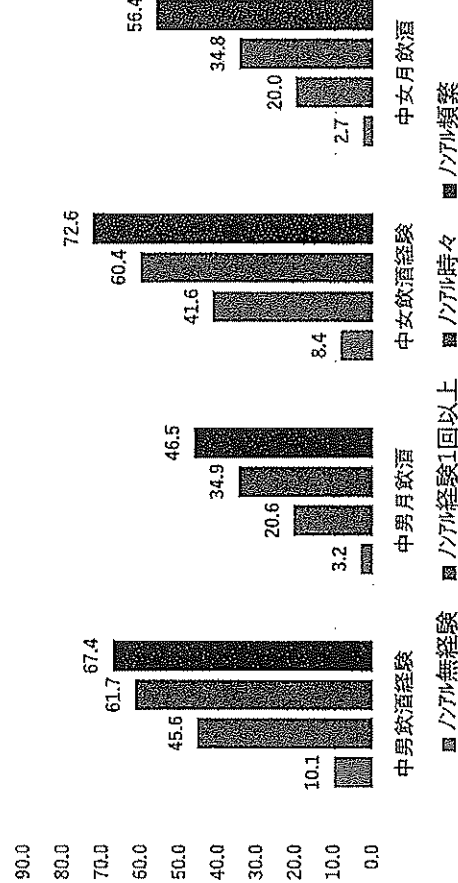
Kinjo A, et.al, The association between alcohol-flavored non-alcoholic beverages and alcohol use in Japanese adolescents, Alcohol and Alcoholism 52, 351-357, 2017

## 飲酒，ノンアルコール経験率：中高男子(%，2017)



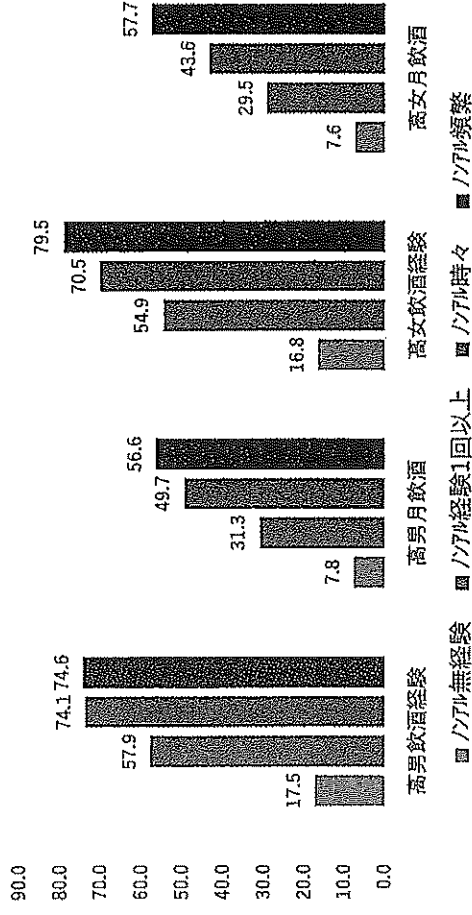
Kinjo A, et.al, The association between alcohol-flavored non-alcoholic beverages and alcohol use in Japanese adolescents, Alcohol and Alcoholism 52, 351-357, 2017

## ノンアルコール頻度と飲酒行動の関連：中学生(%，2017)



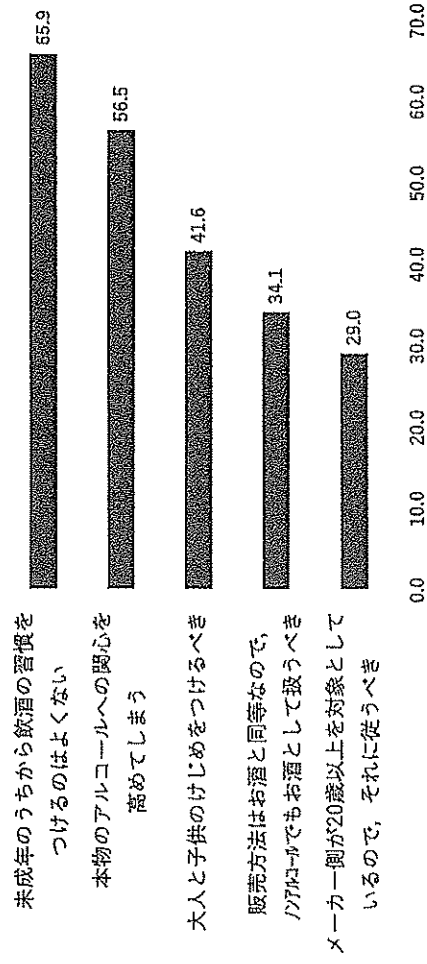
Kinjo A, et.al, The association between alcohol-flavored non-alcoholic beverages and alcohol use in Japanese adolescents, Alcohol and Alcoholism 52, 351-357, 2017

## アルコール頻度と飲酒行動の関連:高校生(%、2017)



Kinjo A, et al, The association between alcohol-flavored non-alcoholic beverages and alcohol use in Japanese adolescents, Alcohol and Alcoholism 52, 351-357, 2017

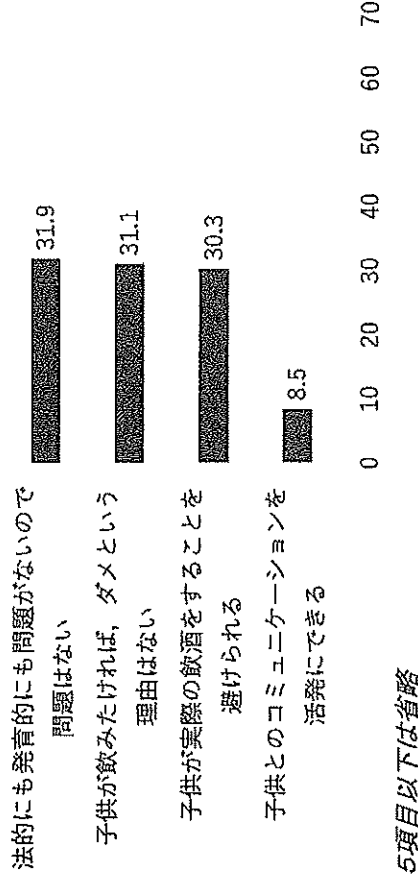
## 未成年のアルコール摂取を不可とする理由(%、2012)



6項目以下は省略

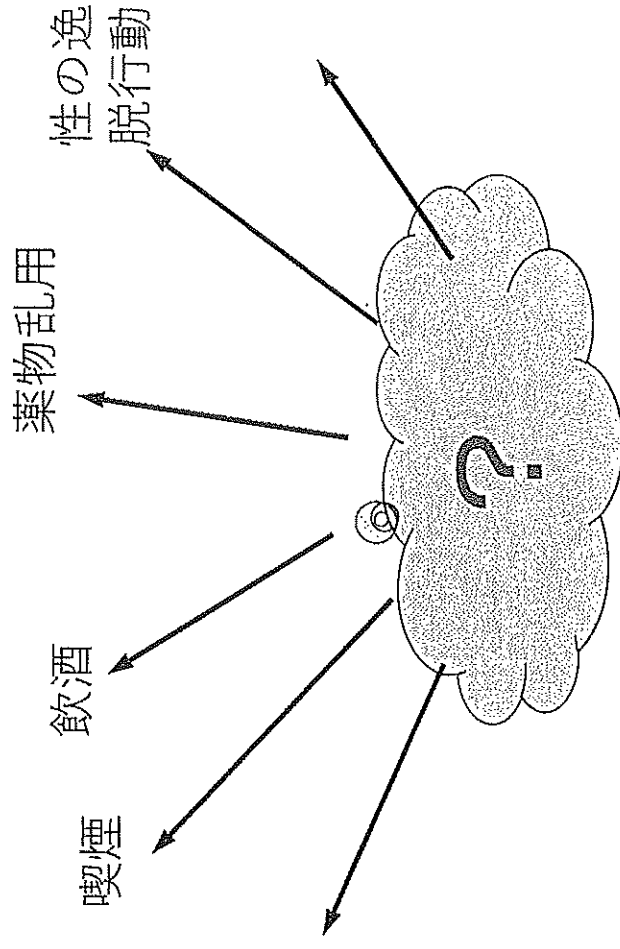
宮木由貴子, 賛否両論, 未成年者とノンアルコール飲料, Life Design REPORT, 38-40, 2012.10

## 未成年のノンアルコール摂取を可とする理由(%、2012)



5項目以下は省略

調査対象: 未成年の子供のいる30歳台、40歳台の男女1200人, 回収率50%  
宮木由貴子, 賛否両論, 未成年者とノンアルコール飲料, Life Design REPORT, 38-40, 2012.10

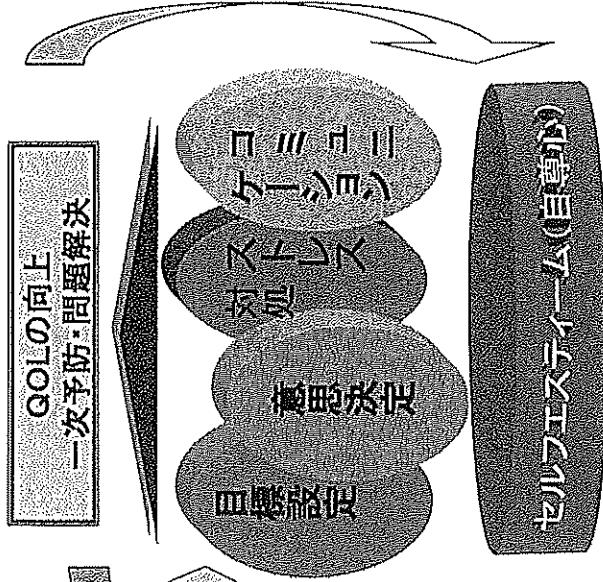


## ライフスキルの定義及び相互関係

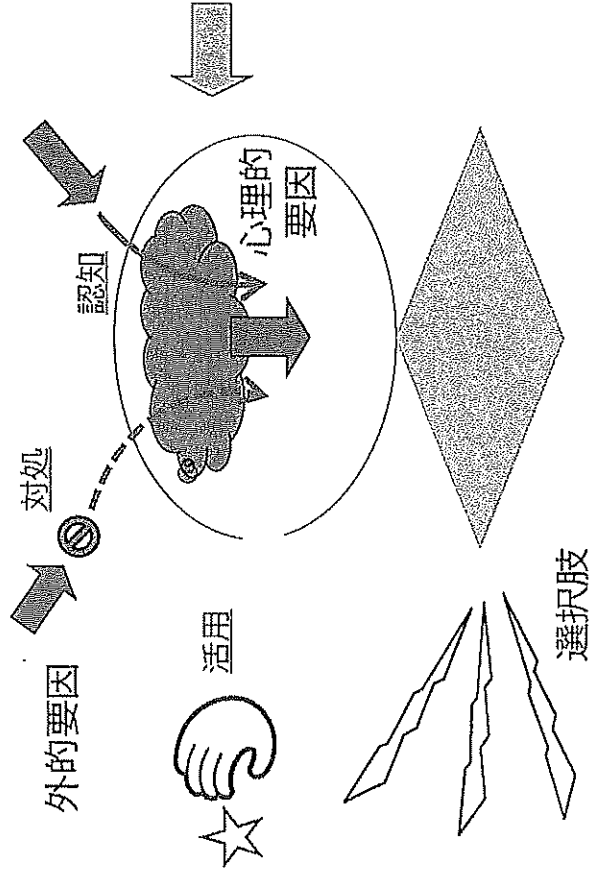
日常生活での様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に（＝適切に）対処するために必要な心理社会的的能力abilitiesである。

（WHO精神保健部局）

⇒ ライフスキル教育：課題に備える能力の事前育成

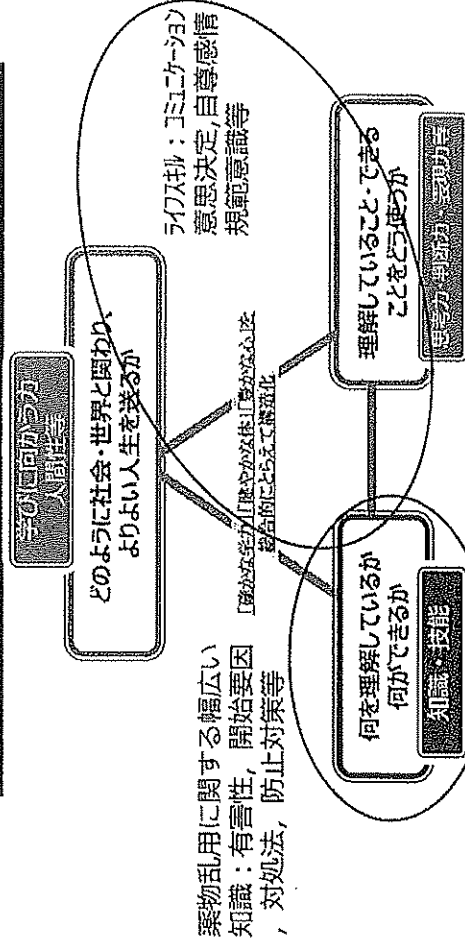


環境要因の影響，それらへの認知，対処，活用

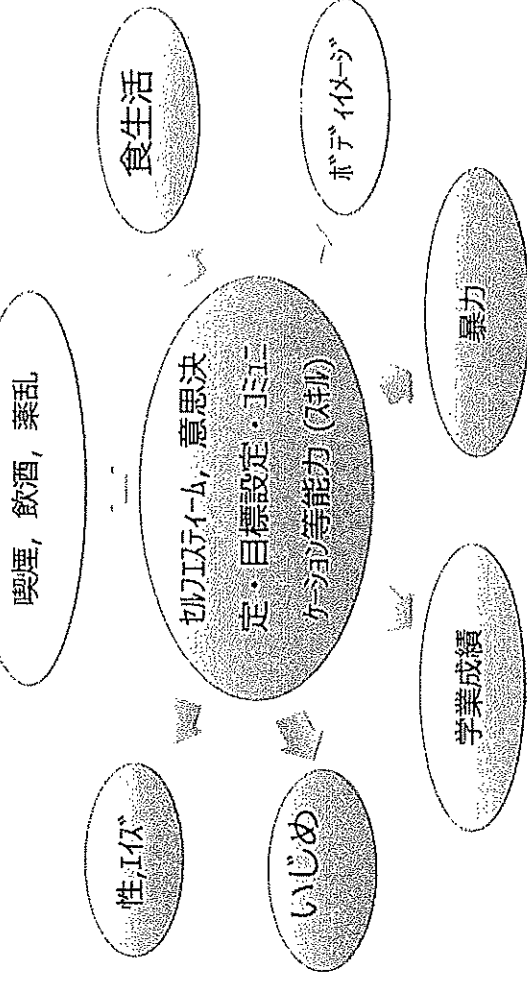


## 資質・能力の3つの柱

育成を目指す資質・能力の三つの柱（※）

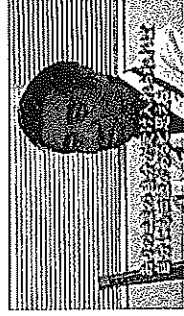
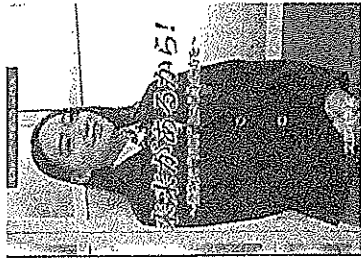


効果：課題別に，包括的に貢献（WHO,JKYB）



## 薬物乱用とライフスキルの関連：

高校薬物乱用防止教材「未来があるから」（文科省, Y. Tube）



薬物依存になりやすい特性 (成瀬暢哉医師)

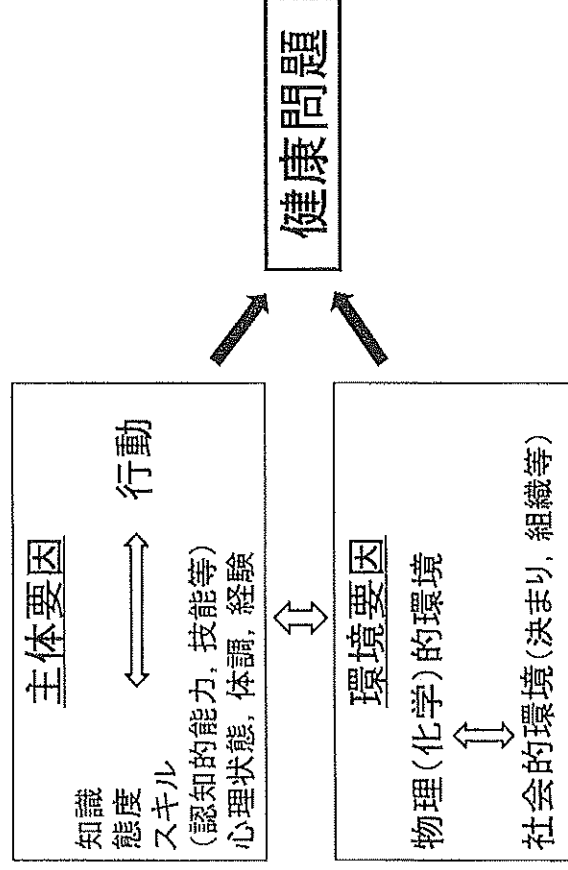
- 自分に自信が持てない
- 人を信じられない
- 本音を言えない
- 見捨てられるのが怖い
- 孤独で寂しい
- 自分を大切にできない

■ 自分の気持ちを正直に話す⇒⇒⇒自分を大切に思える

## セルフエスティーム構成の3要素(川畑)

- ✓ **個性の感覚**：自分には自分らしい特質があると感じている。
- ✓ **有能性の感覚**：自分にはなすべきことをなす能力があると感じている。
- ✓ **結合性（絆）の感覚**：自分にとって重要な人や場所の関係に満足している。

## 健康問題の発生に関わる主体、環境要因



## 指導の目標，内容

## 喫煙，飲酒，薬物乱用防止の指導の目的

①児童生徒の喫煙，飲酒，薬物乱用を防止する

②「生きる力」の育成に寄与する

健康に関する指導については，生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや，必要な情報を自ら収集し，適切な意思決定や行動選択を行い，積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力を育成することが大切である。

H29中要領総則第1, 2(3)解説

## 薬物乱用防止教育の系統性

### @保健科教育

小学校6年「知識」：薬物乱用と健康(H29.6)

薬物：シンナーなどの有機溶剤，(覚醒剤)

有害性：

一回の乱用でも死に至る危険，

中止困難，

心身の健康に深刻な影響

(法律で厳しく規制)

※( )内は軽い扱い可

中学校2年「知識」(ウ)薬物乱用と健康(H29.7)

薬物：覚醒剤や大麻，(ドーピング)

有害性：幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死，

依存症状，中断による精神や身体に苦痛等様々な障害，

個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害，

社会への適応能力や責任感の発達の妨げ，

暴力，性的非行，犯罪等家庭・学校・地域社会にも深刻な影響

開始要因，背景(喫煙，飲酒，薬物乱用)：

好奇心，なげやりな気持ち，過度のストレスなどの心理状態，

断りにくい人間関係，宣伝・広告や入手のし易さ等の社会環境

⇒適切な対処が必要

※( )内は軽い扱い可



高校1年「知識」：現代社会と健康

(工) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 (H30.7)

薬物：コカイン、MDMA等の麻薬、覚醒剤、大麻等、(危険ドラッグ)

有害性等：心身の健康、社会の安全等に深刻な影響、

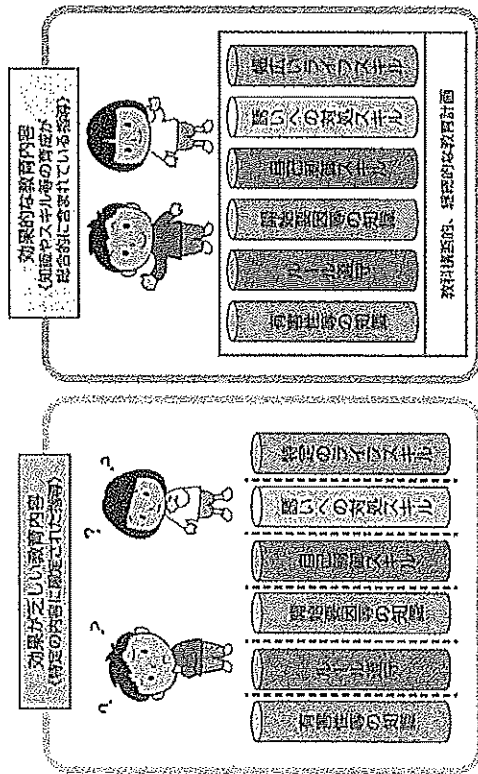
決して行ってはならないこと

防止対策：正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要

(開始の背景、要因：自分の体を大切にする気持ちや社会の規範を守る意識の低下、周囲の人々からの誘い、断りにくい人間関係、インターネットを含む薬物を手に入れやすい環境等)

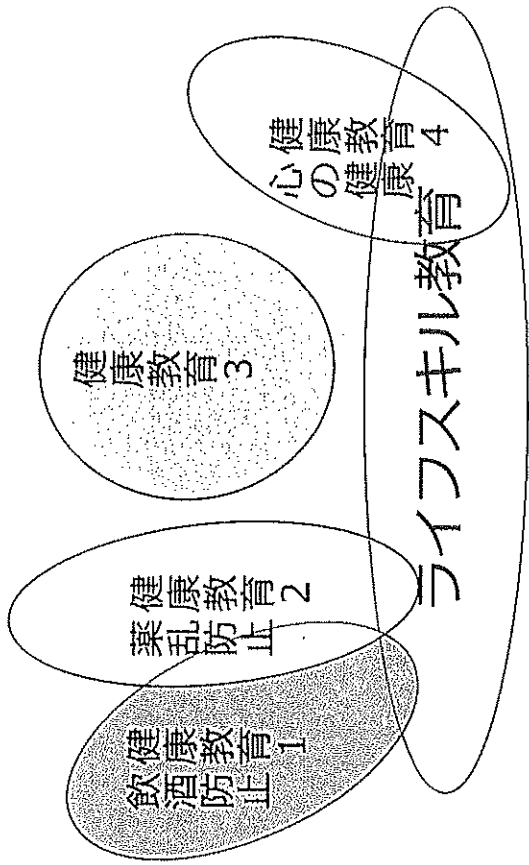
※ ( ) 内は軽い扱い可

喫煙、飲酒、薬物乱用防止に効果的な教育内容：  
(日本学校保健会，2020)



(公財) 日本学校保健会，喫煙、飲酒、薬物乱用防止のための指導参考資料，2020

## 健康教育とライフスキルの関係



学校における健康等に関する指導の展開 H29 中指導要領総則第1, 2 (3)

学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、

➤ 保健体育科、技術・家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。

➤ また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら，日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し，生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。

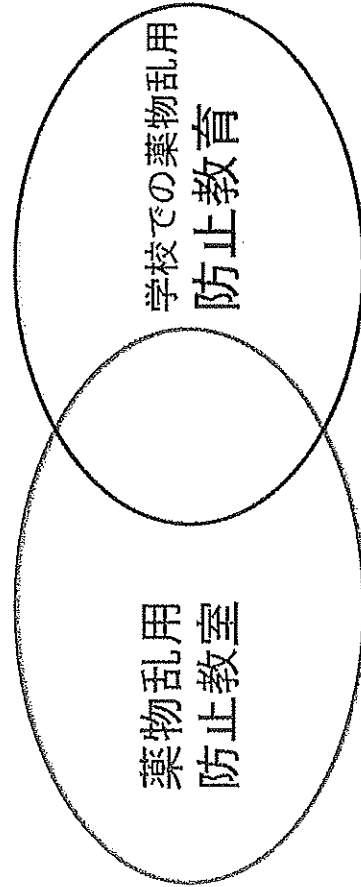
# 薬物乱用防止教室の主な指導内容例(日学保会, 改変)

| 小学校高学年                                 | 中学校                                         | 高校                        |
|----------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------|
| 喫煙, 飲酒, 有機溶剤,<br>(覚醒剤)の害<br>薬物関連の事件・事故 | 大麻, 覚醒剤等の害<br>社会への悪影響<br>青少年期と薬物乱用          | 麻薬, その他薬物の害<br>大麻, 覚醒剤等の害 |
| 喫煙, 飲酒, 薬物乱用<br>のきっかけ                  | 薬物乱用等の開始の背景, 開始要因<br>薬物乱用防止の社会的対策           | 依存者等の治療                   |
|                                        | 誘いへの対処<br>誘いへの対処<br>危険な状況の回避<br>乱用, 依存の成り立ち |                           |
| (薬の働き, 適切使用)                           | 医薬品の適切な使用                                   |                           |

(公財) 日本学校保健会, 薬物乱用防止教室マニュアル(H26年度改訂), 2014

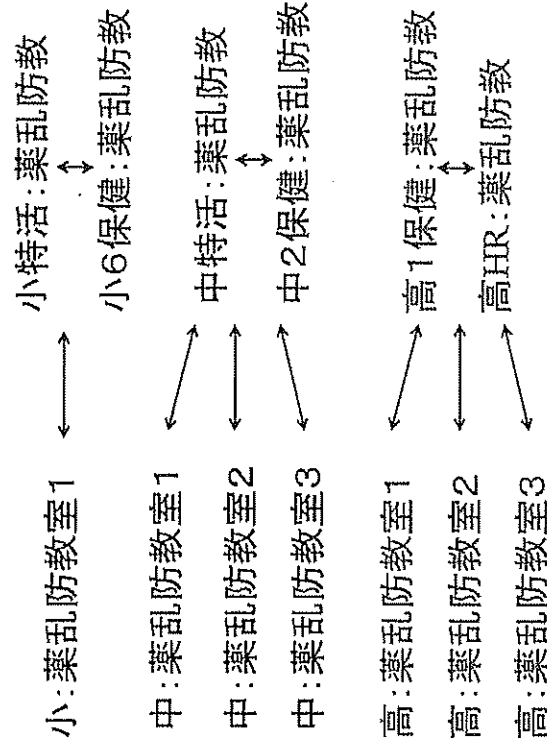
## 薬物乱用防止教室

### 薬物乱用防止教室と学校での薬物乱用防止教育

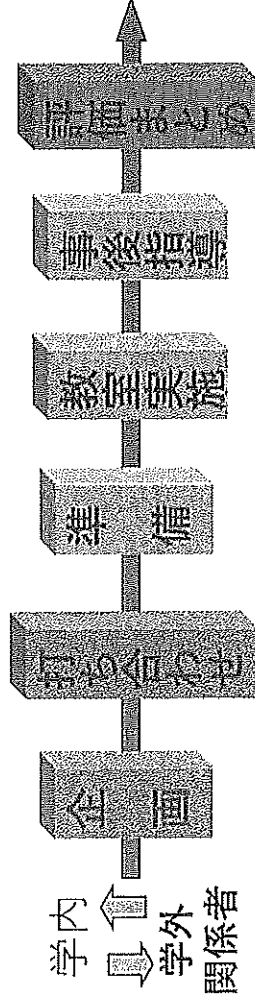


- 教科等横断的カリキュラム
- 社会に開かれたカリキュラム

### 喫煙, 飲酒, 薬物乱用防止教育の関連性



## 薬物乱用防止教室開催の手順



- 主体は学校
- 全教職員の共通理解の元に
- 保護者への広報、啓発
- 関係者・機関との継続的連携に発展
- 年度当初に実施を周知

## 薬物乱用防止教育にあたって必要な内容 (薬物乱用防止教室マニュアル<平成26年改訂>)

1. 薬物乱用は限られた人や特別の場合の問題ではなく、誰の身近にも起こりうる問題であることを明快に
2. 「乱用される薬物は使用に加え、所持することも禁止」という曖昧さのないメッセージが必須
3. 講師が伝えたい内容で一方的に構成するのではなく、対象児童生徒の興味・関心や理解力など、発育・発達段階を十分考慮した内容や指導方法
4. 害や怖さのみの強調ではなく、「薬物に頼らないことが充実した人生につながる」という積極的なメッセージを
5. 地域や家庭環境の非難、酒やたばこを販売する職業へのと決めつけなど、児童生徒や家族を傷つける可能性のある内容は回避

## 指導の要点 薬物乱用防止教育，教室

### 薬物乱用防止教育にあたって配慮が必要な情報 (薬物乱用防止教室マニュアル<平成26年改訂>)

1. 薬物使用に関する行動について「いいわけ」の口実を与えるような情報
2. 乱用薬物の入手方法や使用方法を教えるような情報
3. 薬物乱用者や薬物依存の患者の治療，更正，社会復帰のための情報
4. 「合法ドラッグ」，あるいは「薬物乱用とは何回も繰り返し薬物を使用することである」などの誤解を与える可能性のある情報
5. 「薬物を使用するか否かは本人（子供）自身が決めることである」などという表現が使われている情報

## 様々な指導方法の活用（例）

### ブレインストーミング:BS

事例を用いた学習

視聴覚教育教材の活用

### 参加型学習の特性 @ライフスキル教育

- ✓ グループのメンバーの経験，意見，知識を引き出して活用する
- ✓ 唯一の正解を求めるのではなく，可能性を追究し，選択肢を見つけたらという創造的状況を提供する
- ✓ 学習と意志決定のプロセスにとって重要な，お互いの快適さと安心さを保証する

## 多様な指導方法の工夫 中・指導要領解説保体編

自他の健康に関心をもてるようにし，健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れる

- 発問，日常生活に関連が深い教材・教具
- 事例などを用いたディスカッション
- ブレインストーミング
- 心肺蘇生法などの実習，実験，課題学習
- コンピュータの活用
- 保健・医療機関等の参画
- 養護教諭や栄養教諭，学校栄養職員等との連携・協力

### ペア・グループ学習の進め方（荒木寿友，2018，改変）

#### ペア・グループ学習成立の基盤

- ✓ 他者への尊重→人の意見を聞く，黙って聞く
- ✓ 多様性への理解→共通点の確認，相違点の理解や受容，多くの人と交流，自身も積極的な発言
- ✓ 他者と学ぶ意味の理解：個人を超える到達，新しい意味の創造

#### 進め方

- ①個人で考える時間を確保
- ②発言内容を記しながら（見える化しながら）話し合う
- ③グループを流動的に：適宜新メンバー構成で
- ④指導者は「待つ」姿勢を

荒木寿友，道徳の授業づくり講座，教育Zine，明治図書，2018

主体的・対話的で深い学びとは？（中指導要領解説総則編、改変）

### ① 主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。

### ② 対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。

### ③ 深い学び

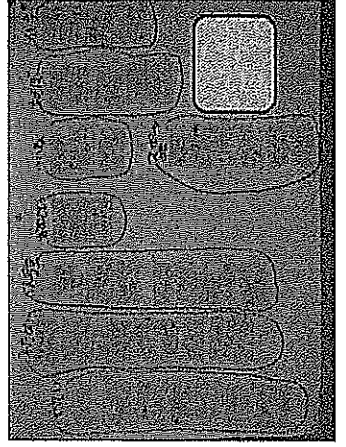
習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう。

## ブレインストーミングの目的、原則

目的：ある課題やテーマについて、様々なアイデアや意見があることを明らかにする

原則：

- 批判、コメント厳禁，“ちょっと怪しい”可
- 自由奔放
- 質より量（数）
- 積極的に便乗、活用
- 短時間：1～3分程度



ブレインストーミング：ある課題やテーマについて、様々なアイデアや意見があることを明らかにする活動

### テーマの例



- 喫煙、飲酒、薬物乱用等のきっかけ
- 薬物乱用防止のための対策や活動
- 薬物乱用をしない理由
- 良い友だちとはどんな友だち？
- 夢の実現を妨げるもの、促すもの
- ストレス源
- ストレス対処法

BSのまとめ：

- ・学習内容や発達段階を踏まえて
- ・適宜教員が支援

BSのまとめ：

BSのまとめ：

BSのまとめ：

BSのまとめ：

BSのまとめ：

文科省、健康教育教材関連内容

## 事例(「新しい保健学習のモデル」改変)

B郎は受験が近い。12月の実力テストに向けて勉強中。

そんな時、小学校からの親友で隣のクラスのA男から誘いがあり、A男の家で勉強することになった。勉強が進んでいくと、A男が「いらするよね。酎ハイ飲まない?」と言い、冷蔵庫から取り出して飲み始めた。<エッ、A男がお酒なんて...>と思いつつも、B郎はA男とこれからも仲良くしていきたいと思っています。

## 事例を用いた学習:

### 拒否の学習

### こんなふうに誘われたら?

A男: B郎も飲めよ。いやなら梅酒もあるよ。  
B郎:  
A男: 飲むとリラックスできるよ。勉強がすすむぞ。  
B郎:  
A男: 少しだけならいいじゃないか。楽しいよ。  
B郎:  
A男: みんな飲んでるよ。飲んだってばれないよ。  
B郎:

### 対処(断り方)の工夫:拒否

- 言葉による表現の内容
  - ・簡潔に断る, それを繰り返す
  - ・理由
  - ・他人や法律を利用
  - ・相手の言うことの疑問点や勧める行為を指摘
  - ・戸惑い等の感情を表現
  - ・代案、解決案
- 言葉によらない表現(ボディランゲージ等)
  - ・視線、姿勢、相手との距離

※緊急避難:無視する、逃げる、立ち去る

同じ誘いに対しても応え方は多様

⇒「適切な対処の仕方，応え方」は様々ある

B 郎 1：それ酒だろ？

B 郎 1：いらない。

B 郎 1：酒を飲むのか？

B 郎 2：覚えても忘れるよ。

B 郎 2：お前だいじょうぶか？

B 郎 2：ゲームしようよ。

A 男 1：B 郎も飲めよ。いやなら  
酎ハイもあるよ。

A 男 2：飲むとリラックスできる  
よ。勉強がすすむぞ。

A 男 3：少しだけならいいじゃん  
いか。うまいぞ。

B 郎 3：お茶でいいよ。

B 郎 3：少しでもいいらない。

B 郎 3：うまくないよ。

ロールプレイを支える理論

社会的学習理論：体験しないで学ぶ(観察等)

①他人の効果的な行動を見る

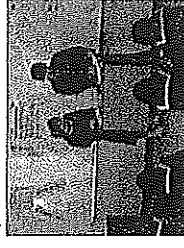
②効果的な対処行動の有効性を理解したり、実感



効果的な対処行動の特性を確認



効果的な対処行動の習得



京都外大薬乱防学生委  
「違法薬物の断り方」

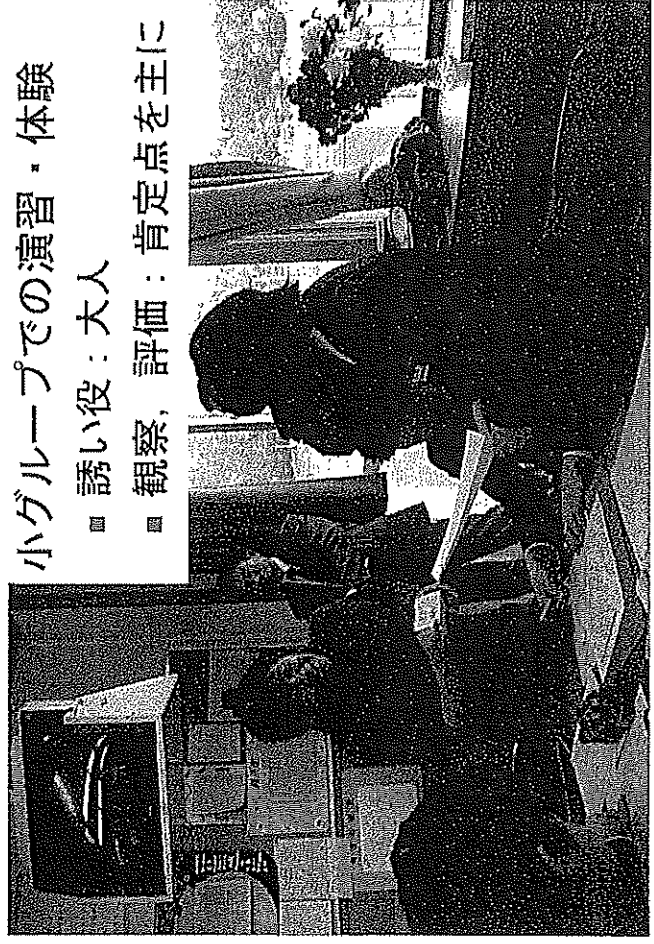
ロールプレイングの説明 (@姫路市立夢前中)



- 自分や他の生徒等の対人関係のスキルや知識を評価する。
- “本番”ではない状況で、スキルや行動を練習したり強化したりする。
- RP後に課題があれば、それに対して、全員が解決策を考える。
- 他の生徒の演技を観察し、学習する。

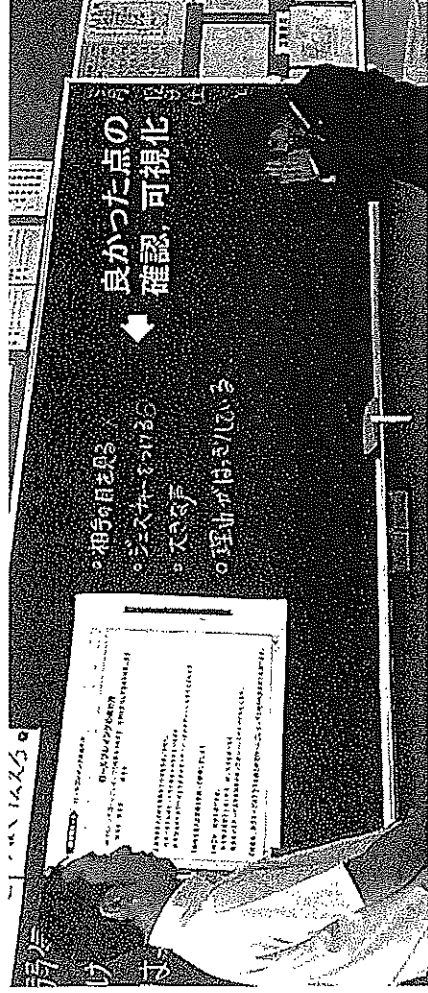
小グループでの演習・体験

- 誘い役：大人
- 観察，評価：肯定点を主に



## 全体でのロールプレイング及びまとめ

- 前：工夫した点、良かった点（他の班員から）
- 後：演じた感想、困った点など



## 視聴覚教育教材の活用

### 視聴覚教材の特性

- 現実的、具体的に、わかりやすく、感覚に訴えられる。
- 多様な大量の情報を伝達できる。
- 子どもたちが共通に理解したりイメージしたりできる。
- 部分的に活用できる。
- 有効性を高めるには、他の情報（保健の教科書、健康教育教材等）や活動（話し合い等）を組み合わせる。

### 視聴覚教材活用の有効性を高める

1. 関連資料等を準備
  - ・適宜、関連資料等を準備
2. 視聴前の指導
  - ・視聴の目的等を説明
  - ・視聴における課題を提示、説明
3. 視聴中の指導
  - ・子どもとともに視聴し様子や言動を観察
  - ・適宜、補足説明等
  - ・一時停止して発問等
4. 視聴後の指導
  - ・課題について振り返り、子ども間で意見交換
  - ・適宜、資料等により補足、説明等



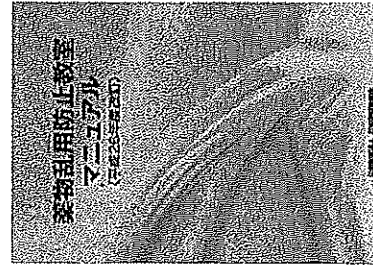
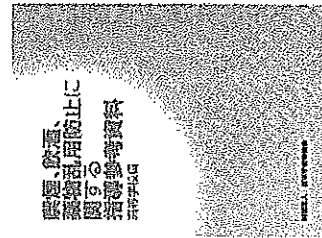
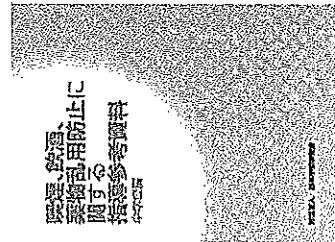
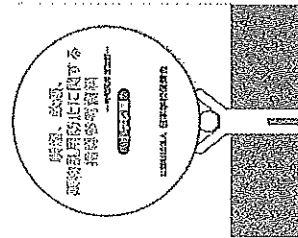
## 「未来があるから！」：内容

- ① 心身の健康や社会への影響、薬物乱用の開始要因・背景要因など
  - ② 回復を目指している薬物乱用経験者の気持ち、社会環境対策など
  - ③ 薬物乱用防止のためにはどのようなことが大切かなど
- 全体：全体を通しての感想や薬物を乱用しないためには何が大切かなど

## 資源の活用

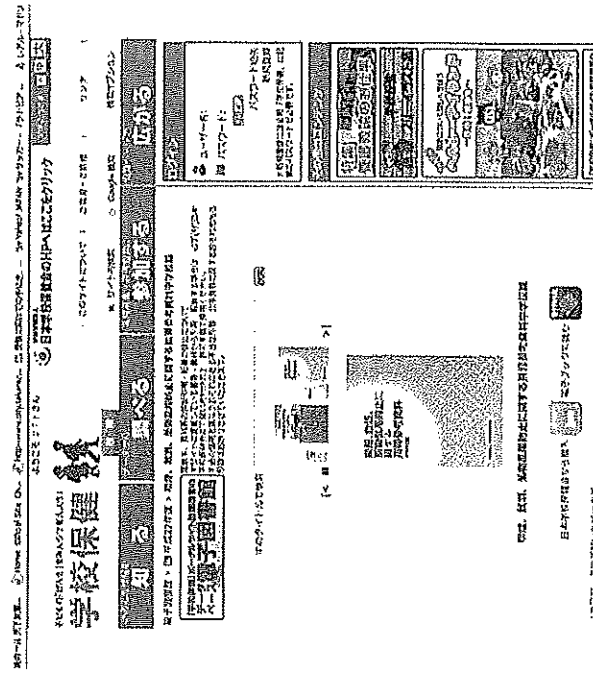
### 防止に関する指導参考資料：改訂中

小R1年度、中R2年度、高R3年度発刊予定、防止教室マニュアル



検索：日本学校保健会＋ポータルサイト＋薬物乱用防止

### 日本学校保健会：電子図書館



「誘われて」・「興味本位で」はカッコ悪い！  
～大麻は有害です～

1 **誤解**：大麻は無害だと思いませんか？

「大麻は害がない」といった誤った情報がSNSなどで拡散していますが、その害は覚醒剤などの薬物と変わりありません。  
大麻を使うとやめられなくなり、見えないものが見えると感じたり、何もやる気がしない状態などを引き起こし、社会生活に適応できなくなります。

2 **人に流されて**：あなたは、大麻を断れますか？

友人や先輩などから大麻を勧められた際に、「仲間外れにされたくない」とか「先輩には逆らえない」といった気持ちを優先して、大麻に手を出してしまう人もいます。大麻を勧める人が、あなたにとって「本当に大切な人」ですか？  
断ることが、あなた自身を守ることです。

3 **思い込み**：自分だけなら誰にも迷惑をかけない、と思いませんか？

大麻を使用すると、築いてきた信頼を失い、自分の未来も身近にいる大切な人たちの人生もめちゃくちゃにしまいます。

あなたとあなたの大切な人の夢や将来(未来)に大麻は必要ありません。

**No Drugs**



令和元年8月5日

兵庫県薬物乱用対策推進会議

～青少年へのメッセージ～